

Q1 **答え** 野菜の種や苗を植える場所のことです。カボチャやスイカなど、1株しか植えない小さな盛り上げのことは「鞍つき」と呼びます。土を盛り上げることで作土を厚くしたり水はけを良くしたりできるので、作物の生育が良くなります。

Q2 **答え** 苗を植えたり挿し木や接ぎ木などをした植物が、畑に根付いたり台木にしっかりくっついていたりしてちゃんと生育していることをいいます。活着が早い方が、その後も良い生育になりやすいです。

Q3 **答え** 緩効性肥料とは、ゆっくり効く肥料のことです。有機質肥料はゆっくり、化学肥料は速効というイメージがあるかもしれませんが、化学肥料にも被覆肥料という溶けにくい加工をしてあるものがあります。有機質肥料は緩効性肥料の一部なのです。

Q4 **答え** 窒素は空気中の窒素から、リン酸はリン鉱石から、カリはカリ鉱石から化学的処理をして作ったものです。ちなみに、リン鉱石もカリ鉱石も日本ではほとんど採掘されないので、海外から輸入しています。

Q5 **答え** ツルばかりが伸びて実がつかないことをいいます。サツマイモやキュウリなどのツル性の作物だけでなく、トマトや大豆でも「つるぼけ」や「樹(き)ぼけ」といったりします。肥料のやり過ぎや日照不足などが原因です。実をつけて子孫を残すより、自分が成長する方に養分を使ってしまいうイメージです。

Q6 **答え** 株の根を付けたまま分けて植えることは「株分け」といいます。分けつは、イネ科の植物が根に近い茎の部分で枝分かれすることをいいます。イネやムギの旺盛な分けつは株が大きくなり、多収に関わります。イネ科ではありませんが、1本の苗が何本にもなるタイプのネギを「分けつネギ」といいます。

Q7 **答え** 一日のうち半分の時間だけ日に当たる、木漏れ日が当たる、強い直射日光は当たらないなどの意味。ミョウガやミツバなど、少し湿った場所や涼しい場所を好む作物に適した光量です。寒冷紗をかけると半日陰の環境をつくれます。

Q8 **答え** その作物の株で最初に咲いた花のことで、栽培する上で重要になることが多いです。例えば、トマトの一番花を实らせると次の花も実が付きやすくなるので必ず着果させたいですが、キュウリやカボチャ、ピーマンなどは一番花を实らせると株の成長が悪くなるので摘み取る対象になります。

○正解数 0~2...グリーンファーム店では初心者でも気軽に相談できますよ。ほうさくClub!を参考にしながら家庭菜園に取り組んでみましょう。
3~5...栽培できて収穫もできるけど、うろ覚えや聞きかじりがあってちょっと不安に思っていないですか?JAに相談すればもっと農業が面白くなるかも!
6~8...野菜作りの達人ですね。これからも農業を楽しみましょう!

アウトレット大放しセール開催中!

各種資材などが特価で手に入るチャンス!ぜひ、グリーンファーム各店へお越しください。

※取扱商品は店舗ごと異なります。
※商品は売り切れ次第終了となりますので、ご了承ください。

対象商品
20~70% OFF!!

2月24日(水)まで開催!!

ほうさくClub!に関するお問い合わせは、各グリーンファーム店まで
 ◎中央店 ☎29-8177 ◎東部店 ☎62-0665 ◎西部店 ☎22-4091
 ◎さなだ店 ☎72-8072 ◎まるこ店 ☎42-2977 ◎よだくぼ南部店 ☎85-2400
 ◎しおだ店 ☎39-8118

気軽に家庭菜園

Q & A

第223回
今月は

ほうさくClub!

レッツチャレンジ!

「畑用語検定」に挑戦! ~第2弾~

昨年好評だった畑用語検定の第2弾です。今さら聞きにくい用語があったりしませんか?用語を知れば理解が深まって、もっと家庭菜園が楽しめるかも!○×で答えてみましょう。



Q1
「畝(うね)」とは、畑の土を細長く盛り上げたところである。
答え OorX

Q2
「活着(かっちゃん)」とは、植えた苗が根付いて順調に生育することである。
答え OorX

Q3
「緩効性肥料」とは、有機質肥料のことである。
答え OorX

Q4
「化学肥料」とは、天然の鉱石や空気から作られる肥料のことである。
答え OorX

Q5
「つるぼけ」とは、畑でボケっとしているとツルに引っかかって転ぶから危ないという意味である。
答え OorX

Q6
「分けつ」とは、大きく育った株を、根を付けて分けて植えることである。
答え OorX

Q7
「半日陰」とは、日陰よりは日に当たり、日なたよりは日に当たらない、ということである。
答え OorX

Q8
「一番花」とは、その作物の株で一番きれいに咲いた花のことである。
答え OorX